

# 【別紙1】 令和5年 お盆期間の高速道路における特に長い渋滞の回避例

《ケース1》

8月11日(金) 東京周辺 ⇒ 仙台方面の例

## ① 出発時間の変更で渋滞回避

東北道ルートでは、浦和本線料金所を20時以降に通過することで、渋滞を回避することが期待されます。所要時間が最も長くなる時間帯(10時)と比べ、最大で3時間35分程度短くなると予測しています。

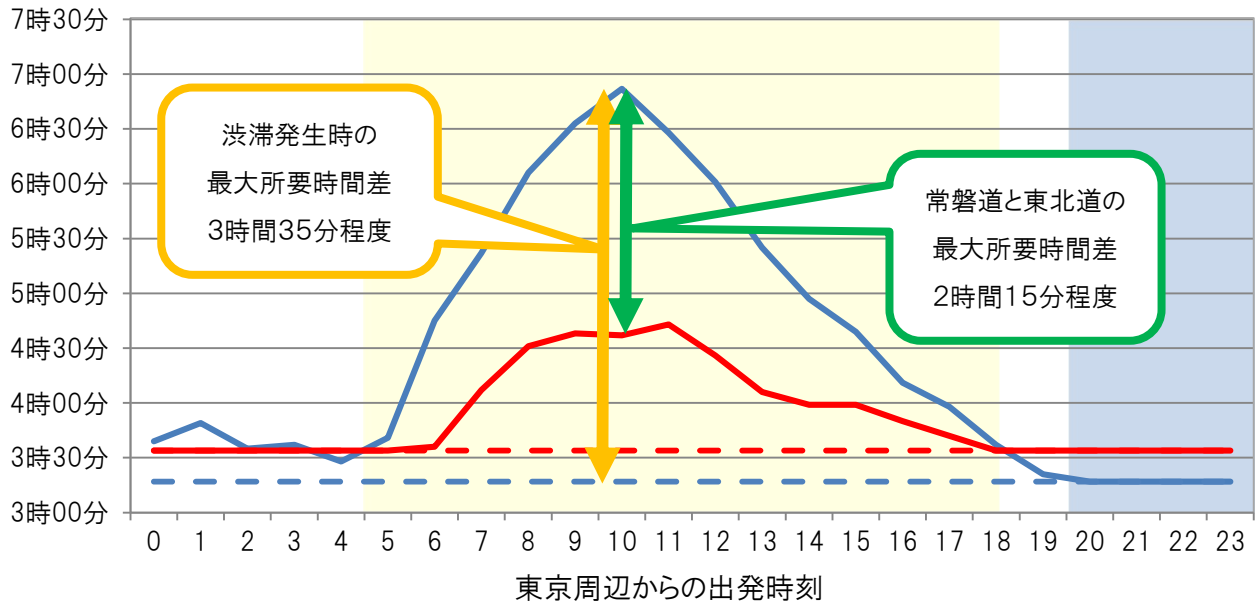
## ② ルートの変更で渋滞回避

また、東京周辺から仙台方面へ向かう場合、通常時は東北道ルートの方が常磐道ルートよりも所要時間が短くなりますが、5時頃から18時頃まで三郷本線料金所を通過する場合、常磐道ルートの方が東北道ルートよりも所要時間が最大で2時間15分程度短くなると予測しています。



※関東方面にお住まいのご家族・ご友人にも  
ぜひお伝えください

令和5年8月11日(金)  
 東京周辺 ⇒ 仙台方面 ルート別所要時間



- 東北道ルート(浦和本線料金所 ⇒ 仙台宮城IC) 実線:通常時、破線:渋滞時
- 常磐道ルート(三郷本線料金所 ⇒ 仙台東IC) 実線:通常時、破線:渋滞時
- ① 出発時間の変更で渋滞回避可能な時間帯
- ② ルートの変更で渋滞回避可能な時間帯

《ケース2》

8月15日(火) 仙台周辺 ⇒ 東京方面の例

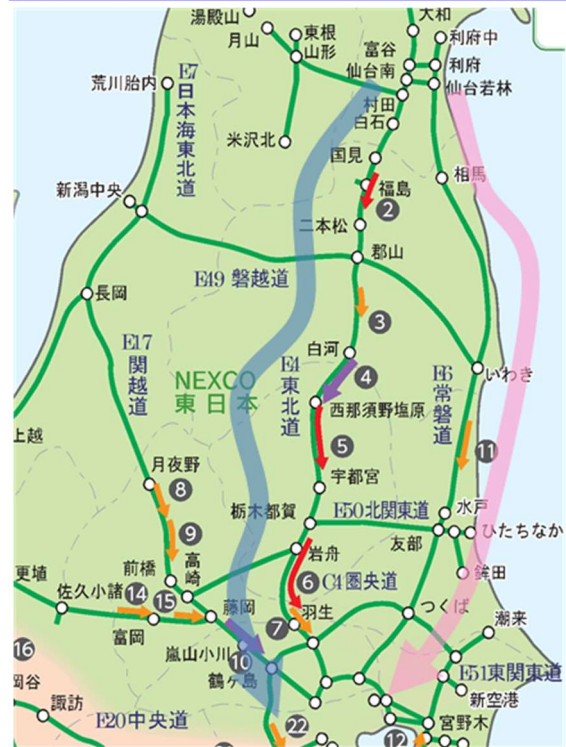
① 出発時間の変更により渋滞を回避

東北道ルートでは、仙台宮城ICを9時以前、もしくは21時以降に通過することで、渋滞を回避することが期待されます。所要時間が最も長くなる時間帯(12時)と比べ、最大で3時間10分程度短くなると予測しています。

② ルートの変更により渋滞を回避

また、仙台周辺から東京方面へ向かう場合、通常時は東北道ルートの方が常磐道ルートよりも所要時間が短くなりますが、10時頃から19時頃までに仙台周辺から出発する場合、常磐道ルートの方が東北道ルートよりも最大で2時間50分程度短くなると予測しています。

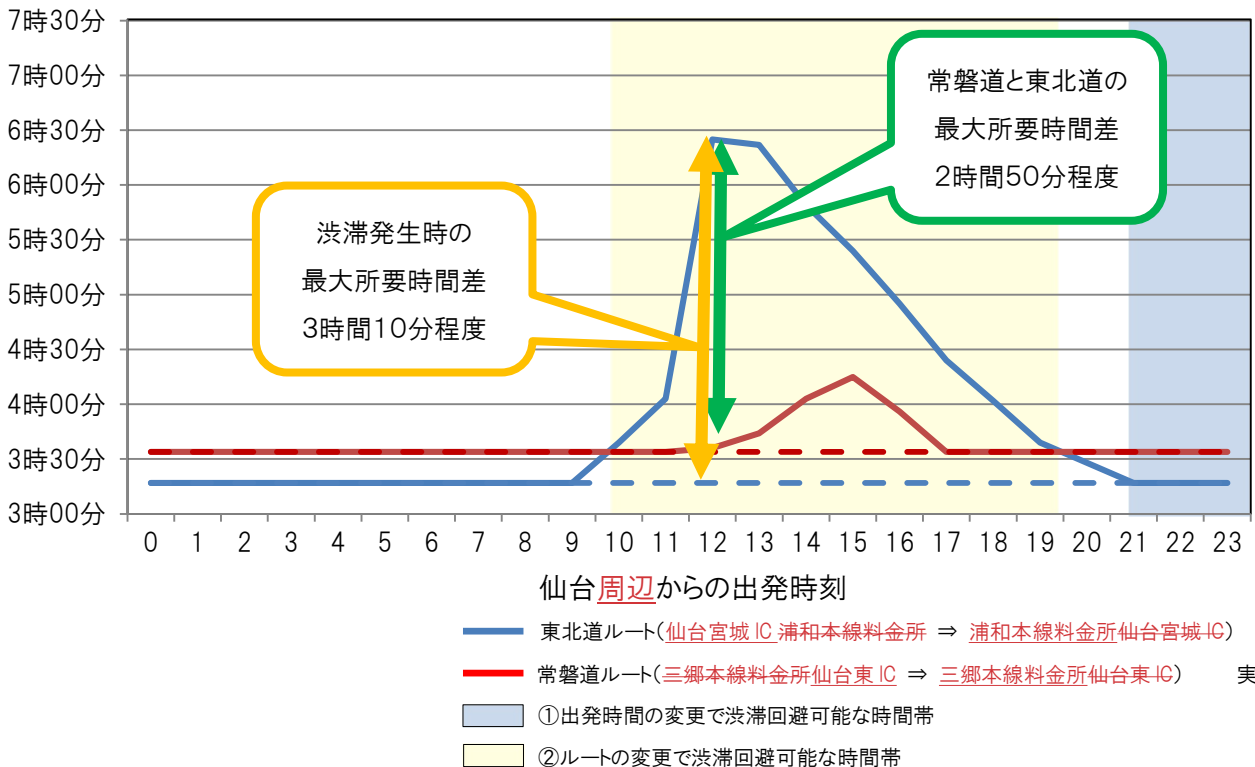
→ 東北道ルート 仙台宮城IC⇔浦和本線料金所(327.6km)  
→ 常磐道ルート 仙台東IC⇔三郷本線料金所(315.8km)



→ 30km以上の渋滞の予測区間  
→ 20km以上の渋滞の予測区間  
→ 10km以上の渋滞の予測区間

令和5年8月15日(火)

仙台周辺 ⇒ 東京方面 ルート別所要時間



※事故や天候の影響などによっても渋滞状況は大きく変わる可能性がありますので、お出かけ前に『ドラとら』などで最新の道路交通情報をご確認ください。